

用化されている MDS (Management Decision System) の具体的な内容や、経営者の評価に関心をもっていただくからである。

その他各テーマ別の発表は、OHP等を用い親切的な説明をされる方もかなり見受けられた。しかし、専門外の人にも発表内容の主旨が伝わるような説明をしてくれる人が少なかったように思われた。理論ないし解法指向型のテーマに加えて、問題指向型のテーマもかなり多く見受けられた。片方に偏ることなく適当なバランスを保つのが望ましいのではないか。ペーパー・フェアはテーマ別に学生講義室で行なわれたため、少し入りにくかった。前回のように同一会場内を仕切ったブースで行なっ

たほうがよかった。部会報告では、部会での成果を要約でもよいから印刷物にして配布してくれると有難い。地方にいて部会に参加できない学会員にとっては年2回の発表会だけが接触するチャンスであるから。

懇親会は、7日夕方キャンパス内の食堂で開かれた。実は、私は懇親会に出席するのは初めてであったので少し気おくれしなくてもなかった。出てみると気軽な雰囲気であり、会費分の飲食は十分楽しめ、さらに自分の研究に役立つ情報入手のチャンスがあり、損な投資ではなかった。松田会長や森口大会委員長の話しぶりも、今大会の参加人数の多かったことを反映してか、終始明るかったのが印象的であった。(小樽商科大学 樋口透)

会合記録

() 内は出席者数

編集委員会	10月3日(金)(10)
支部長会議	10月6日(月)(12)
会計幹事会	10月24日(金)(3)
庶務幹事会	10月29日(水)(5)
研究普及委員会	10月30日(木)(11)
IAOR委員会	10月31日(金)(2)
月例講演会	11月5日(水)(12)
編集委員会	11月7日(金)(11)
表彰委員会	11月11日(火)(6)
理事会	11月28日(金)(16)

第4回理事会議題 (55-11-28)

1. 第3回理事会議事録の承認
2. 入退会
3. 定款ならびに細則の一部変更案
4. 昭和55年度秋季研究発表会ならびに第8回シンポジウム報告
5. 昭和56年度春季研究発表会の準備状況
6. 昭和56年度秋季研究発表会について
7. 第1回ORセミナーの報告
8. 研究普及委員会規程について
9. モニター会議報告

10. 第1回数値計画シンポジウム論

1. 文集の販売委託のお願いについて
11. OR誌の特集について
12. 視察団派遣について
13. 日本学術会議から派遣を希望する学術関係国際会議および派遣候補者の推薦について
14. 昭和56年度事業計画ならびに予算案の作成について
15. その他

編集後記 あけましておめでとうございます。本年も昨年同様、会員および読者諸氏のご協力、ご支援をお願い申し上げます。▶今編集委員会の任期も本年半ばまで。ここまですればゴールが見えてきたようなものですが、いままで以上気を緩めずまいりたいと思います。いま一番の気掛かりは次に引き継いでくださる方々がすんなり決まるかどうかです。▶新年早々頭の痛む問題ですが、昨今の諸物価の高騰はもちろん今月から値上げの郵便料

などが本誌の財政を直撃、学会の会計年度が始まる3月から購読料をやむなく改訂せざるをえない状況となりました。読者諸氏のご理解とご協力をお願いいたします。▶本号の特集は「カントリー・リスク」。最近の政府や企業などの海外投資の増加にともなって、投資先の国のリスクを正しく評価することはますます重大となっているようです。こういった分野にもORが果たすべき役割が多くあるように思いますが、いかがでしょうか。(M)

オペレーションズ・リサーチ

昭和56年1月号 第26巻(新シリーズ第6巻) 1号 通巻241号

代表者 松田 武彦

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2) ☎ 113

編集人 高橋 磐郎

発売所 株式会社 日科技連出版社
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 ☎ 151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円(郵送料含)年間予約購読料 7200円(郵送料含)

本誌への広告お申し込みは明報社(571-2548)、日経弘報社(563-2241)へ